

突然死を防ぐ

危険なサインを
見逃すな!

週刊朝日
MOOK

脳・心臓の いい病院

脳梗塞 / 脳出血 / くも膜下出血
狭心症 / 不整脈 / 大動脈瘤 など

独自調査!

手術数がわかる
全国 **2059**
病院ランキング

進化する
心臓の再生医療
頭痛は
こう治す!

Specialインタビュー
関根 勤さん

心臓ステント手術の一部始終

抗菌加工
本誌の表紙は、
抗菌加工を
施してあります。

心臓カテーテル治療を軸に 地域への貢献を目指す

心臓に血液を送る冠動脈が閉塞する虚血性心疾患は、その代表例である心筋梗塞が日本人の死因として上位を占めているように、特に注意を要する疾患だ。その治療として発展してきた心臓カテーテル治療を軸に、福島県会津若松市を中心とする地域に貢献してきたのが、わかまつインターベンションクリニックだ。「心筋梗塞で亡くなる患者を減らしたい」という最終的な目標があります。患者様に気軽に来院して頂き、疾患を早期に発見・治療するために、地域に信頼される医療機関であることを心がけてきました」と語るのは、心臓カテーテル治療のエキスパートでもある阿部巨院長。同院では、阿部院長を中心とするスタッフで手厚い心疾患治療を提供してきた。狭心症や心筋梗塞に対する心臓カテーテル治療では、県外からも多くの医師が参加する症例検討会を開くなど研鑽を重ね、石灰化して

医療法人 疾風会

わかまつインターベンションクリニック

Top どこまでも
「患者思考」
Interview

「開かれた医療」を大切に

心臓カテーテル検査・治療で地域に貢献



理事長・院長 阿部 巨

あべ・わたる ●1983年、山形大学医学部卒業。北里大学病院循環器内科、静岡赤十字病院、清水厚生病院循環器内科、竹田総合病院循環器内科、海老名総合病院附属東病院循環器内科、赤心堂病院循環器内科を経て、2002年、わかまつインターベンションクリニック開院、院長就任。03年、医療法人疾風会設立、理事長就任。



【診療科目】循環器内科、内科、心臓血管外科
【外来診療時間】9:00～18:00
夜間心臓救急は受入可能
【休診日】火・日・祝
〒965-0005 福島県会津若松市
一箕町大字亀賀字北柳原 25-1
会津若松インターから車で5分
TEL. 0242-32-1558

<http://www.wakamatsu-intervention-clinic.com/>

いる血管や、大きく狭窄した血管のような難症例にも対応。加えて、異常を早期に見つけるために、日帰りもしくは1泊2日での心臓カテーテル検査や、より短時間で診察できるCT検査も提供している。

また、「動脈硬化は全身に及びます。例えば、足の血管が閉塞していると心疾患を発症する危険性も高まるのです」と、心疾患の早期発見につながるため、下肢の動脈が閉塞するPAD(末梢閉塞疾患)の患者も積極的に受け入れている。PADに対しては、カテーテルを用いた血管内治療が有用であり、振動するカテーテルで石灰化した病変を破碎できる最新機器「クロスサー

システム」も活用しながら対応していくという。

オープンな治療と ホスピタリティを重視

治療を行う中で阿部院長が常に徹底してきたのが、「患者様に開かれた医療」だ。「治療について患者様に隠すことが不信感につながります。そうならないよう、すべてをオープンにしたいというのが開院の原点にありました」。実際に同院の心臓カテーテル検査・治療はその考えのもとで進められており、医師や看護師から病状や治療の見通しについて、患者や家族が納得いくまで説明を行っていく。心臓カテーテル治療の際も、患者のいるカテーテル室と家族のいる待機室の間の大きなガラス窓や、血管の状態を写した大画面モニターで治療の様子を随時公開しており、治療中はスタッフによって家族への説明も行っている。これらの取り組みが、患者や家族が疾患や治療に対して抱く不安の払拭につながっているといえる。

同様に患者の安心感を高

めるため、阿部院長はホスピタリティも重視している。「患者様をご家庭からお預かりし、治療させて頂いている。開院から常にそう捉えてきました。それだけに居心地の良い環境で過ごし、気持ちよく帰っていただくことを心がけています」。スタッフにもこの考えは浸透しており、電話や院内での応対など一つひとつの接遇に気を配ると共に、各部署で積極的にミーティングを開き、問題点の洗い出しにも努めている。また、福島県のシンボルの一つとも言える磐梯山を仰ぎ見るロケーションにある建物自体も、心が落ち着けることを考慮してデザインされており、温かみのある外観及び待合室、受付カウンターや、壁全体の窓から景色が一望できるラウンジなど、病院を感じさせない作りとなっている。

**地域に信頼され
多くの患者が来院**

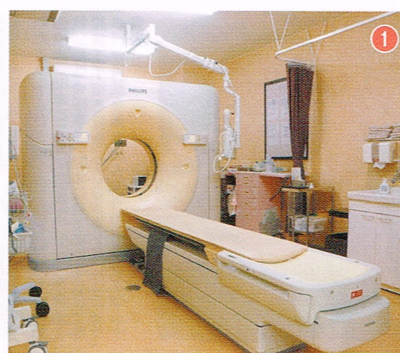
同院のこうしたさまざまな取り組みは次第に地域で知られるようになったとい



3



2



1



4

- 1 冠動脈の状態を迅速に調べられるCT
- 2 患者の家族はスタッフから説明を受けつつ、治療の様子を見ることができる
- 3 院内は医療機関であることを感じさせない
- 4 外の風景を眺められる談話室
- 5 心臓カテーテル検査・治療に携わるスタッフ

心臓カテーテル手術・検査実績

	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年
心臓カテーテル手術 (PCI)	341	405	396	403	486	585
体内ペースメーカー移植 (PMI)	21	27	29	28	44	32
心臓カテーテル検査 (CAG)	320	264	226	257	225	202
経皮的血管形成術 (PTA)	35	31	52	64	69	92



5

う。心疾患を発症した住民や、早期発見を望む住民などが数多く来院するようになったこともあり、2002年2月の開設から15年12月に至るまで1万件以上の検査・治療を実施してきた。加齢に伴い、治療後に別の冠動脈が閉塞する可能性も高まることから、20年以上のつきあいがある患者も数多い。「患者様から遠方のご兄弟を紹介して頂くこともあります。お住まいの地域が遠いにも関わらず当院を選んで頂いたことに喜びを感じます」と言うようなケースがしばしば見られるのも、患者が同院の診療に厚い信頼を寄せているからこそだろう。

こうした実績を上げつつも、阿部院長は決して現状に満足はしていないという。「根強く地域医療を推進し、患者さんに今以上のサービスを提供するために何が必要か常に考え続けています」。同院はこれからも患者本位の姿勢を大切に、スタッフ一丸でより質の高い医療の実現に力を尽くしていく。

取材/鈴木健太